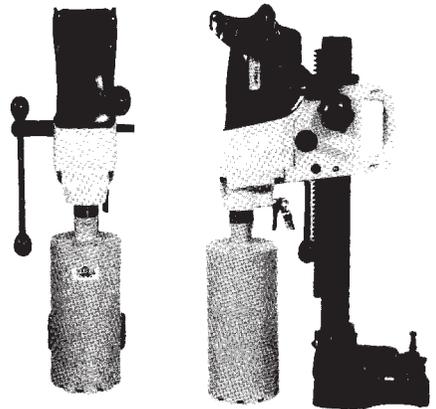


ダイヤモンド コアドリル

# REX *SPARKEL*

スパークル

**RC130/RC130L 取扱説明書**



**ご使用前に必ず  
お読みください**

—お願い—

- この取扱説明書は、機械本体の取扱説明書と一緒にお使いになる方に必ずお渡してください。
- 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みになってください。
- なお、この取扱説明書と機械本体の取扱説明書は必ず一緒に、お使いになる方が必要なときにいつでも見られるところに大切に保管してください。

購入年月:                      年                      月

お買上げ店名:

# 目次

安全にご使用いただくために	1~3
REXダイヤモンドコアドリルご使用上の注意	4~5
各部の名称	6
標準仕様	6
標準付属品	6
固定方法	7
本体の取付け（アンカー固定）	8
本体の取付け（真空吸着式）	9
作業の手順	10
使用手順	10
二段変速のつかい方	11
コアの引抜き	12
排水の処理	12
深穴穿孔	13
修理・サービスを依頼される前に	14
日常の点検・手入れ	15
ギヤケース調整方法	15
ローラーの交換	16
クラッチのすべり	17
サーキットプロテクタ	17
カーボンブラシの点検	17
ビット（グリーンビット一覧表）	18
オプション	19

## ⚠ 警告, ⚠ 注意, の意味について

この取扱説明書では、注意事項を **⚠ 警告** と **⚠ 注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

**⚠ 警告** : 誤った取り扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容をしめします。

**⚠ 注意** : 誤った取り扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容をしめします。

なお、「**⚠ 注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので必ず守ってください。

・この使用説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社の代理店・販売店にご注文ください。

・品質・性能向上あるいは安全上、予告なく使用部品や仕様の変更を行う場合があります。その際には本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 安全にご使用いただくために



- ① 使用電源は正しい電圧で使用してください。
  - ・必ず本体の銘板に、もしくは取扱説明書に定格表示してある電圧でご使用ください。表示電圧以外の電圧で使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあります。
- ② 差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチがOFFになっていることを確認してください。
  - ・スイッチがONの状態ですり込みプラグを電源に差し込むと、急に機械が動きだし思わぬ事故につながります。必ずスイッチがOFFになっていることを確認してください。
- ③ 感電に注意してください。
  - ・濡れた手で差し込みプラグに触れないでください。
  - ・アースは必ず接地してください。感電の恐れがあります。
- ④ 作業場での周囲状況も考慮してください。
  - ・ガソリン、シンナーなど、可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。引火、爆発の恐れがあります。
- ⑤ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
  - ・取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、使用しないでください。事故やケガの原因になります。
- ⑥ 次の場合は、本体のスイッチを切り、差し込みプラグを電源から抜いてください。
  - ・使用しない、または、部品の交換、修理、掃除、点検をする場合。
  - ・付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合（停電の際も含みます）。プラグが差し込まれたままだと、不意に本体が作動して、事故の原因になります。
- ⑦ 異常を感じたらすぐに運転を中止してください。
  - ・運転中、機械の調子が悪かったり、異臭や振動、異常音などに気がついた場合は直ちに機械の運転を中止してください。
  - ・取扱説明書の「トラブル処置方法」の項目に症状を照らし合わせ、該当する指示に従ってください。そのまま使用されますと、発熱、発煙、発火の恐れがあり、事故やケガの原因となります。
  - ・本体が発熱したり、発煙した場合は、むやみに分解せず、点検・修理に出してください。
- ⑧ 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・作業台、作業場所は常に整理整頓を心がけ、十分明るくしておいてください。ちらかった場所や作業台は事故の原因になります。

 警告

- ⑨ 作業関係者以外は近づけないでください。
- 作業員以外、本体や電源コードに触れさせたり機械の操作をさせないでください。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。特に、子供には十分注意してください。ケガの原因になります。
- ⑩ 無理して使用しないでください。
- 指定用途以外には使わないでください。安全に能率良く作業するために、本体の能力に合った作業をしてください。無理な作業は製品の損傷をまねくばかりでなく、事故の原因となります。
  - モータがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑪ きちんとした服装で作業してください。
- ネクタイ、そで口のあいた服、編み袋、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 屋外での作業の場合にはゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、ケガの原因になります。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
  - 作業環境により、保安帽、安全靴等を着用してください。
- ⑫ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してケガの原因になります。
- ⑬ レンチなどの工具類は、必ず取り外してください。
- スイッチを入れる前に、点検・調節に用いた工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままで作動させると、事故やケガの原因になります。
- ⑭ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業してください。注意を怠ると、事故やケガの原因となります。
  - 常識を働かせてください。
  - 疲れているとき、酒を飲んだとき、病気や薬物の影響、その他の理由により、作業に集中できない場合は、使用しないでください。事故やケガの原因となります。
- ⑮ 電源コードは乱暴に扱わないでください。
- コードを持って製品を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから引き抜いたりしないでください。
  - コードを高熱のもの、油脂類、刃物類、角のものが当たった所に近づけないでください。
  - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、配線する場所に注意してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。

## 警告

### ⑩ 日頃から注意深く手入れをしてください。

- ・ 付属品や部品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ 電源コードや差し込みプラグは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。  
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には変換してください。また、屋外で使用する場合には、屋外使用にあった延長コードを使用してください。感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。すべて、ケガの原因になります。

### ⑪ 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用する前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 差し込みプラグやコードが破損している機械は使用しないでください。  
感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない機械は、使用しないでください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店、または当社の営業所に修理を依頼してください。

### ⑫ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。

### ⑬ 機械の分解・修理は、専門店で依頼してください。

- ・ 当社の製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い求めの販売店、または当社営業所にお申し付けください。  
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。

## スパーケルRC130/RC130L使用上の注意

機械の故障や事故、ケガを防止するために、以下の注意事項を必ず守ってください。

### 警告

- ① AC100Vで使用してください。200V電源に接続すると、モーターの回転数が異常に高速となり、機体が破壊する恐れがあります。  
また直流電源ではお使いにならないでください。
- ② モータ内部に水が入らないようにしてください。絶縁性能が低下し、焼損の原因となります。
- ③ 穿孔の際には必ず注水してください。ビットが過熱し、チップとびやチップ割れの原因となり穿孔能力が低下します。
- ④ 無理な力を加えないでください。穿孔能力が低下し、モーター焼損の原因となります。
- ⑤ ギヤケース調整を確実に行ってください。調整が不十分だと正確な穿孔ができない場合があります。
- ⑥ ビットの取付ねじ部にはグリースを塗布してください。また、使用後はパーマルレンチ（オプション）を用いて分解し、ウエス等でねじ部を清掃後、新しいグリースを塗布しておくことでビット類の交換が容易になります。
- ⑦ 漏電遮断器の設置してある電源を使用してください。
- ⑧ ベースはしっかりと固定してください。切削中にガタつきがあると、ビット等が損傷する恐れがあり、ケガの原因となります。
- ⑨ 使用中は、回転部に手や顔を近づけないでください。巻き込まれたり、事故やケガの原因となります。
- ⑩ モーターの風穴をふさがないで下さい。モーターが過熱し、焼損の原因となります。
- ⑪ 送りハンドルから手をはなす時は、ストップノブを使用し、必ず本体を固定してください。本体が落下し、事故やケガの原因となります。
- ⑫ コンクリート構造物に穿孔する場合は、埋設配線等をよくチェックして作業を開始してください。電線等に接触すると感電する恐れがあります。
- ⑬ 高所での作業は安全で安定した場所に置くようにしてください。
- ⑭ 作業後は本体の手入れをし、取付けねじ等がゆるんでいないか確認してください。ゆるんだまま作業されると、事故やケガの原因となります。
- ⑮ 床面に穴をあける場合、貫通時にコアがビット内から抜け落ちる場合があります。階下の人や物に注意し、安全な状態で使用してください。

## スパーケルRC130/RC130L使用上の注意

### 注 意

- ① 清掃の際は、ガソリン、シンナー、石油、灯油等を使用すると、表面をいためるので、使用しないでください。かわいた布か、石けん水をつけた布などでふいてください。
- ② 製品や付属品は下記のような場所以外の安全で乾燥した場所に保管してください。
  - ・ お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
  - ・ 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
  - ・ 温度が急変する場所
  - ・ 直射日光の当たる場所
  - ・ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

## 修理をご依頼のときは

本機は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をなさないで、下記のところにご用命ください。

最寄りの

{	レッキス製品取扱店
	レッキス工業営業所（裏表紙参照）
	レッキステクノサービス部 0729-63-1960

その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上でご不明の点がございましたら遠慮なくお問い合わせください。

# 各部の名称・標準仕様・標準付属品

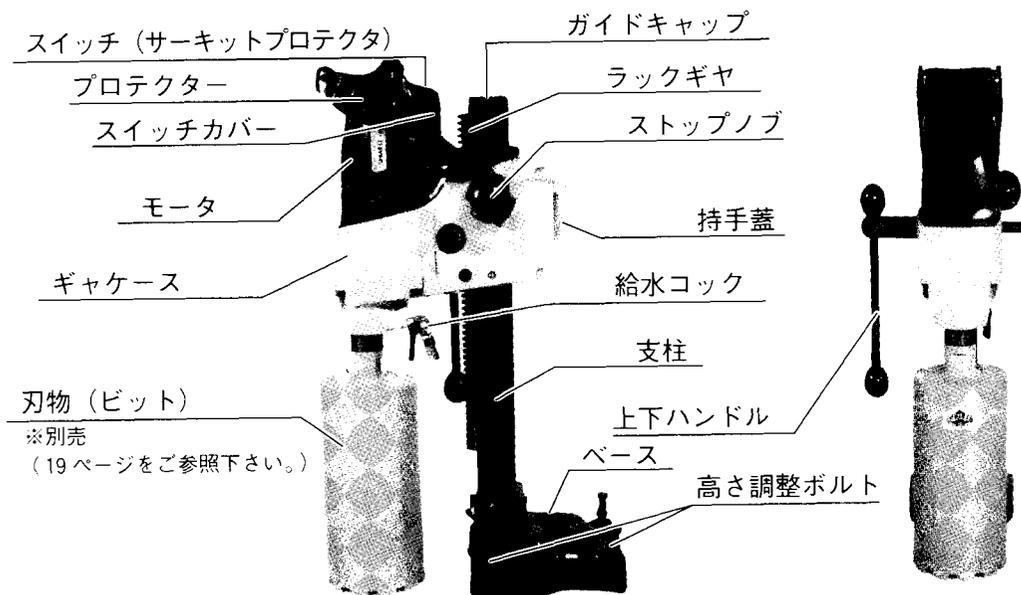


図1

## 仕 様

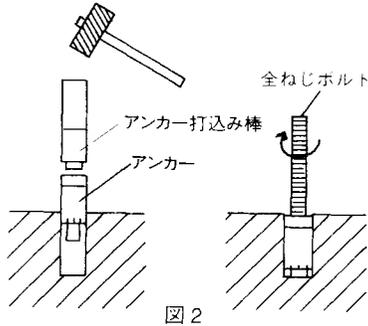
項 目	型 名	スパーケルRC130	RC130L
	能力(最大穿孔径)		130mm
モ ー タ		単相直巻整流子モータ	
電 源		50/60Hz AC100V	
回 転 数 (無負荷)		900rpm	
定 格 電 流		13A	
絶 縁		二重絶縁 (E種)	
適 用 ビ ッ ト 径		φ27~φ130	
全 ス ト ロ ーク		360mm	460mm
寸 法	(全高)	612mm	722mm
	(ベース)	167(W)×200(L)	
重量(ビット・標準付属品除く)		15.9kg	16.4kg

## 標準付属品

品 名	個 数	品 名	個 数
モンキレンチ (200mm)	1	角座金	1
片口スパナ (13.36mm)	各1	六角ナット (3/8B)	1
棒スパナ (3.4.5.6mm)	各1	アンカー打ち込み棒 (3/8B)	1
水処理パット	1	ドリフトピン (ワイヤ付)	1
パット押え	1	100G グリス	1
アンカー (3/8B)	3	工具袋	1
全ネジボルト (3/8B)	1		

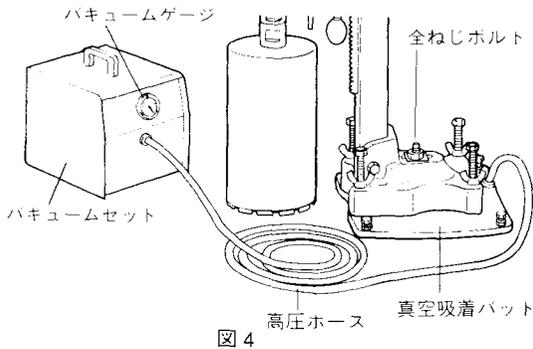
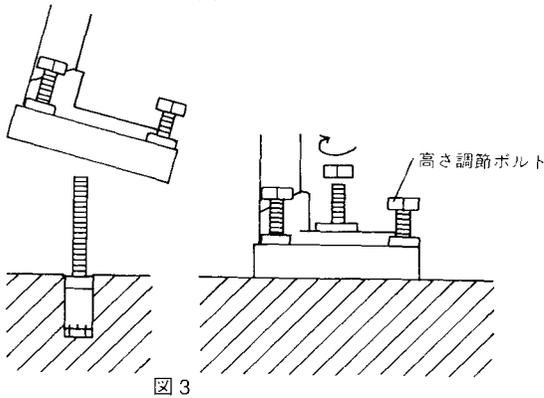
# 固定方法

コアドリルはハンマードリルのように、手で持って作業できません。必ず床面、壁面に固定して使用してください。  
固定の方法には次の3つがあります。



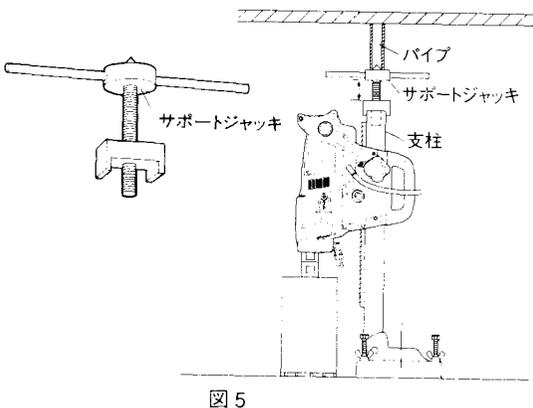
## (1.) アンカー固定

1/2Bのナットアンカー(市販品)を使用して本体ベース部を固定します。



## (2.) 真空吸着式

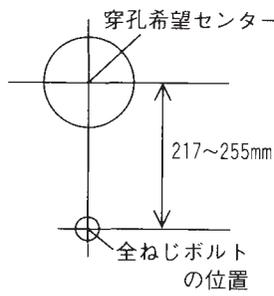
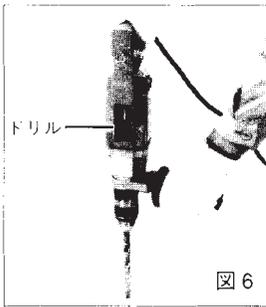
バキュームセットで本体のベース部を真空にして、床や壁に吸着させる方法です。  
(真空吸着には、オプションの真空吸着パットおよびバキュームセットが必要です)



## (3.) サポート・ジャッキ方式

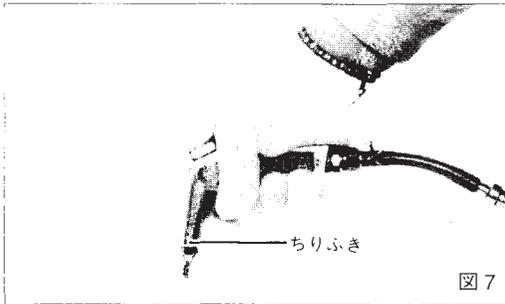
支柱上端のガイドキャップ部にサポートジャッキのナット部をかぶせ、天井あるいは壁に向けてパイプ等で突っ張って固定します。

※サポートジャッキはオプションです。



## 本体の取付け(アンカー固定)

1. ハンマードリルで、穿孔穴のセンターから217~255mmの位置にφ14.3mm深さ約50mmの穴をあけてください。



2. ちりふき等を使用して、穴の中の切り粉を排除してください。

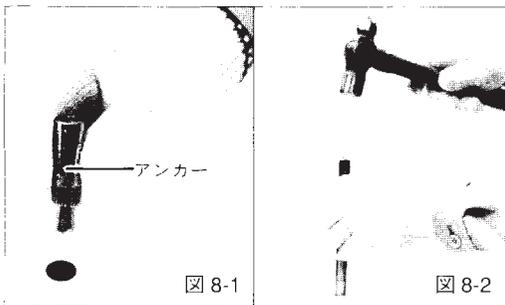


図 8-1

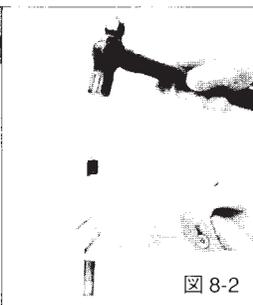


図 8-2

3. 市販のアンカー(3/8B)を、専用ホルダーで打込んでください。

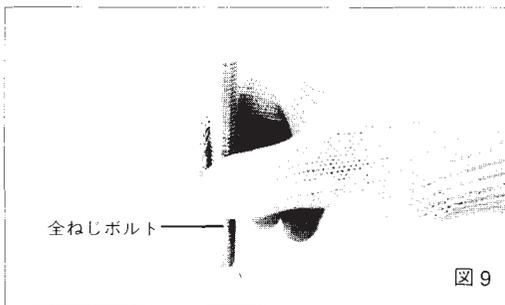


図 9

4. アンカーに全ねじボルトをねじ込んでください。

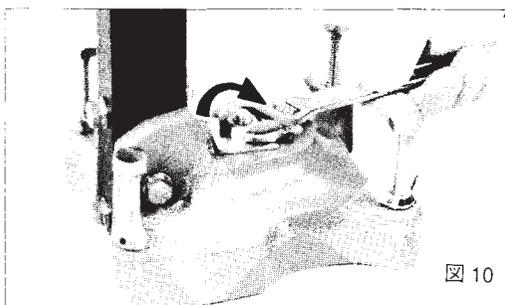


図 10

5. ベース本体長穴部を全ねじボルトにさし込み、アンカー固定用角座金を使用して、ナットを締付けてください。

# 固定方法

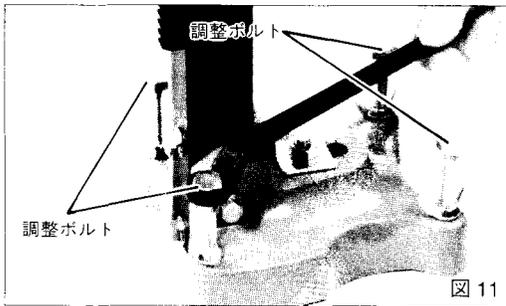


図 11

- ベース本体の四隅にある高さ調整ボルトで、水平、垂直を調整してください。

## 本体の取付け(真空吸着式)

- 真空吸着パット(M・L)を、全ねじボルト位置が穿孔穴のセンターから図及び表に示す寸法になるようにセットします。

真空吸着パットサイズ	A寸法
M(コードNo.450704)	117(231)
L(コードNo.450703)	115(226)

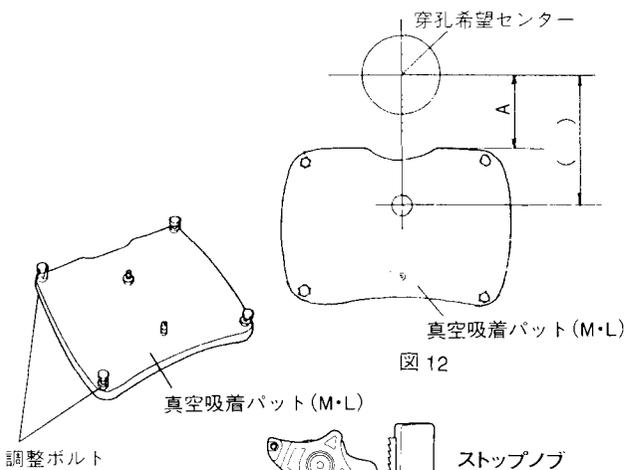


図 12

- 付属の高圧ホースをバキュームセット、真空吸着パットの順に接続し、スイッチをONにしますと吸着を始めます。

※真空吸着パットを手で軽く押さえ付けますと吸着が容易になります。

### ⚠ 注意

真空吸着パットの設置は確実に行ってください。特に壁面に設置される場合、設置方法が不完全ですと真空吸着パットがはがれ、落下することがありますのでご注意ください。

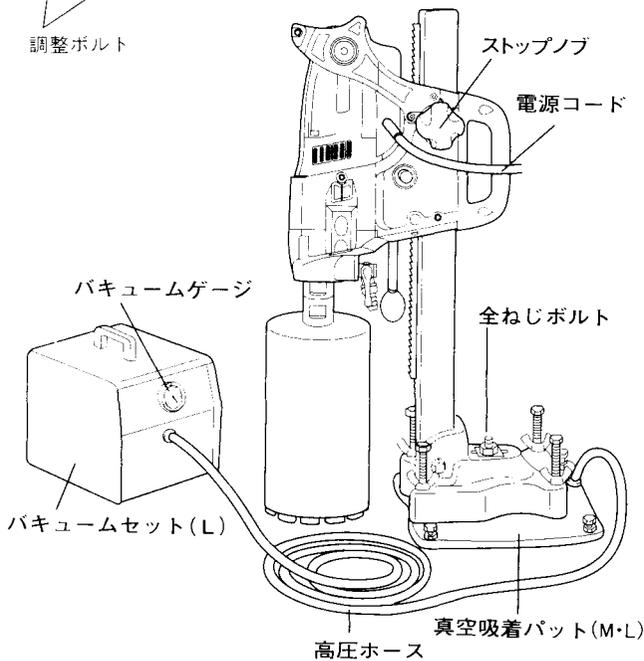


図 13

- ベース本体長穴部を全ねじボルトにさし込み、固定用角座金を使用してナットで締付けてください。

- バキュームゲージ(M)の場合は50cmHg、(L)の場合は60cmHg以上になっていることを確認して、穿孔を開始してください。

※吸着パットがあたる面の、砂、土はきれいに取り除いてください。少しの凹凸でも吸着しないことがあります。

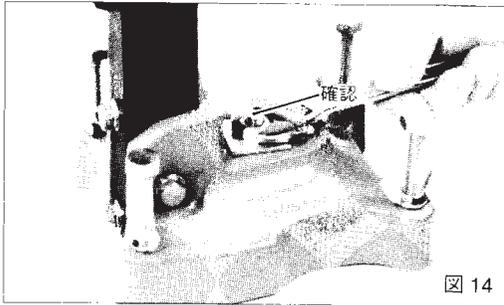


図 14

## 1.使用手順

- (1.) コアドリル本体が確実に固定されていることを確認してください。

### ⚠ 注意

締め付けがゆるんでいますと本体が落下するなど事故の原因となります。

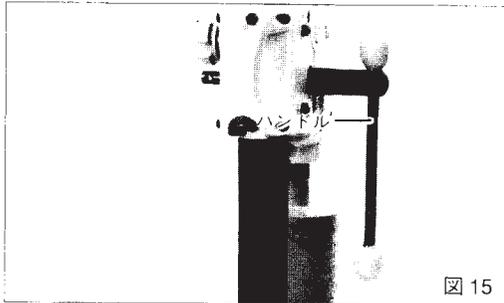


図 15

- (2.) ハンドルを図のように取付けます。

### ⚠ 注意

取付け及び穿孔中は、支柱には絶体手を持っていかないようにしてください。本体と支柱に指がはさまれ、事故やケガの原因となります。

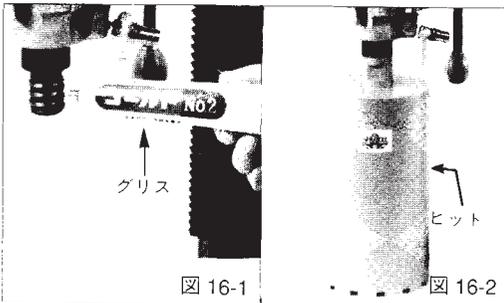


図 16-1

図 16-2

- (3.) モータ先端にビットを取付けます。

※ビット取付けの際には、モータ先端のねじ部に必ずグリスを塗布してください。刃物の着脱が容易になります。

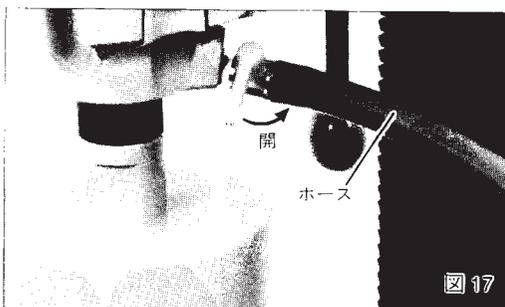


図 17

- (4.) モータ給水コックに、水道もしくは給水タンク（オプション）からホースをつないで水を供給してください。

※給水コックを図のように開にしてください。

### ⚠ 注意

水を使用しないで穿孔しますと、ビットの刃先がカケたり、とんだりして通常の性能が発揮できない場合があります。ビット破損の原因ともなりますので必ず給水してください。

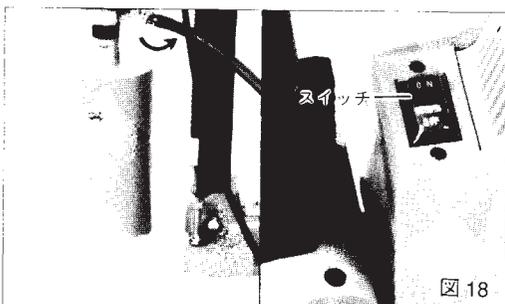
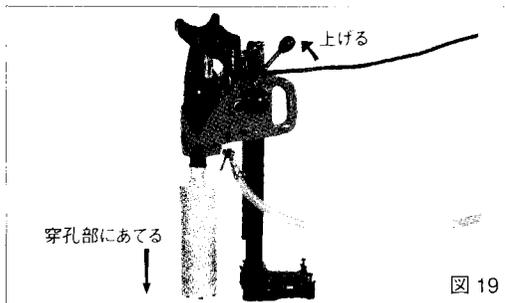


図 18

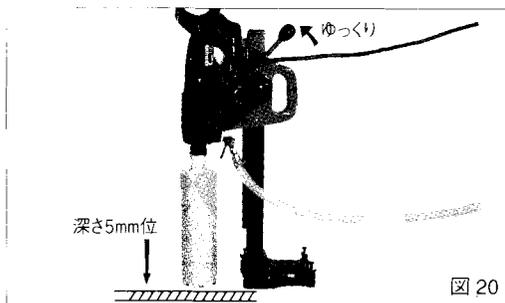
- (5.) 水がビットの先から出てくるのを確認して、穿孔を開始してください。

※スイッチをONにしますと刃物が回転します。

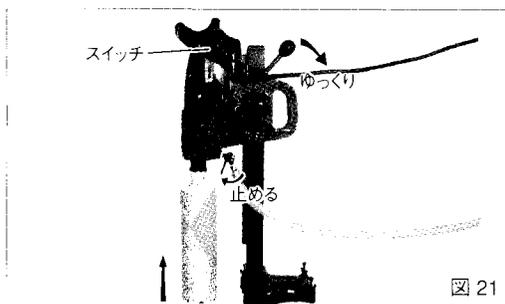
# 作業の手順



(6.)切りはじめは、ビットの先を穿孔部にゆっくりあててください。強くあてるとビットがブレることがあります。



(7.)深さ5mm位までは軽く送り、その後一定の押圧で穿孔してください。



(8.)貫通後はただちにスイッチをきり、水をとめて送りハンドルをまわしてビットを引き抜いてください。

## 3. コアの引抜き

穿孔を終えてコアを除去する場合は、図を参照してください。

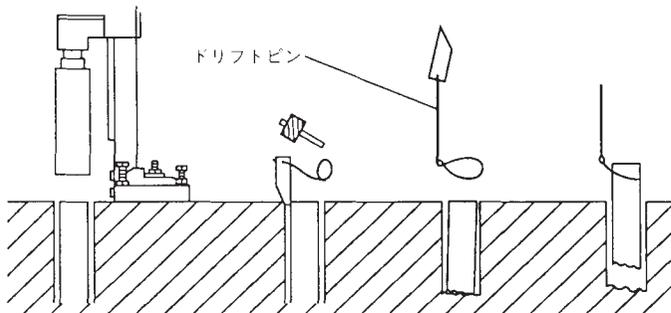


図 22

## 4. 排水の処理

屋内作業等で排水がまわりに飛び散ったり、たれ流しになるのを防ぐためには水処理パットおよび押え金具をご使用ください。

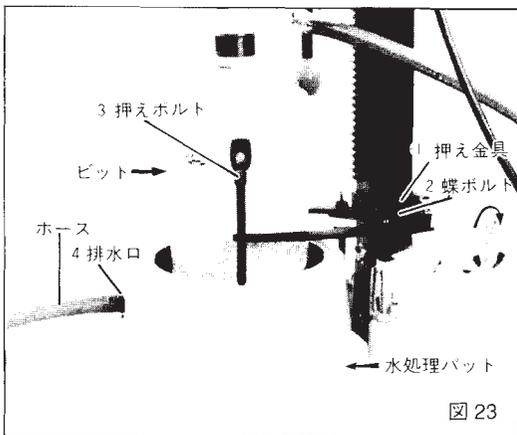


図 23

- (1.) 押え金具①を支柱に取付け、蝶ボルト②をしめつけて固定します。
- (2.) 押えボルト③をしめ込んで、水処理パットを床面や壁面に押えつけます。
- (3.) 排水口④にホースをつないで、水処理パット内にたまった水を排水します。

※ 電動バキュームをあわせてご使用になるとさらに効果的です

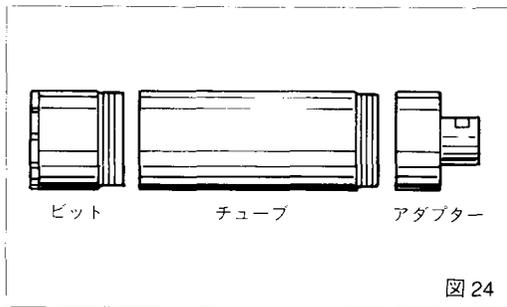


図 24

呼びサイズ (インチ)	チューブ長 (mm)	有効長 (mm)	全 長 (mm)
1	295	332	415
1 1/4	295	337	420
1 1/2	285	327	420
2	285	327	420
2 1/2	280	370	420
3	280	370	420
3 1/2	280	370	420
4	250	368	420
5	250	368	420
6	250	368	420
7	250	368	420

例(チューブ2本)のつぎたし

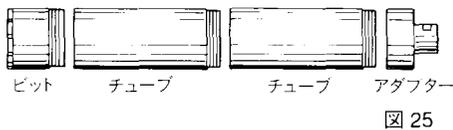


図 25



(150・200・350・450mm) 深く掘る時に使用します

図 26

## 5. 深穴穿孔

### (1.) チューブつぎたし

ダイヤモンドコアドリル用の刃物は、ビット、チューブ、アダプターの3点からなっておりそれぞれをねじ込んでつなぎます。ビット+チューブ+アダプターの有効長(穿孔できる深さ)は、約350mmです。

さらに深く穿孔するときは穿孔後、アダプターとチューブの間に、もう一本チューブをつないで再穿孔してください。

例 有効長 約600mm

※各サイズにおける、有効長およびチューブ長は表を参照してください。

※ビット、チューブ、アダプターをつなぐ際に、ねじ部にグリスを塗ってください。ビットの交換、チューブのつぎたしのとき、着脱が容易になります。

※チューブ長は、表以外の寸法も製作致します。  
※弊社では、長尺支柱もご用意しておりますので、詳しくは弊社営業所までご相談ください。

### (2.) 延長バー

延長バーを使うときは、穿孔後、付属のドリフトピンワイヤー付きでコアを一度折って除去し、モータのスピンドルとビットの間につないで、使用してください。(オプション)  
(全長, 150mm, 200mm, 350mm, 450mm)

## 修理・サービスを依頼される前に

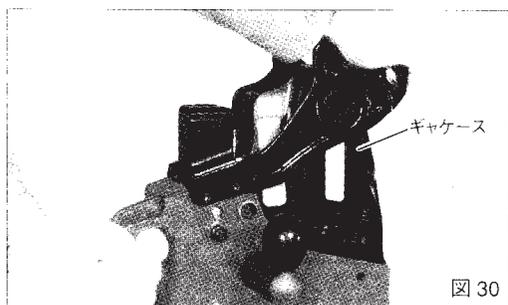
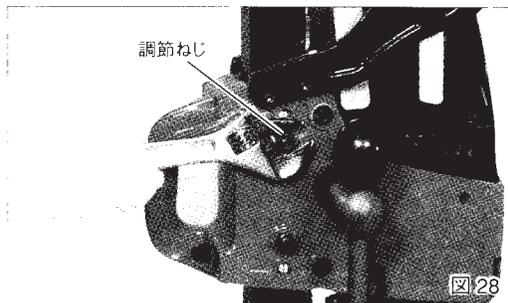
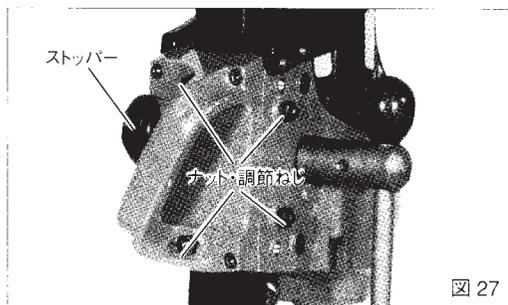
製品に異常が生じたときは、次の点をお調べの上お買い上げの販売店にご連絡ください。

### ⚠ 警告

該当する項目や指示がない場合は、むやみに分解したり修理したりしないでください。  
 該当する項目や指示がない場合、あるいは「修理・サービスを依頼してください」の指示がある場合には、必ずお買い求めの販売店、当社の営業所にお申し付けください。  
 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因になります。

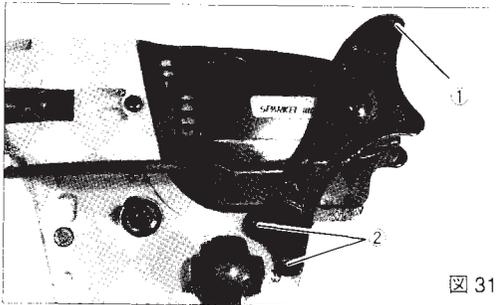
トラブル	すぐどうするか	原因	対策
ビットが固着した	スイッチを切る	鉄片または混入された石等が、コアとビットの間にはさまっている	スパナまたはパーマルレンチでビットをまわしてみる
			ビット引抜き工具を使用する
			チューブとビットを残し、コアに再度小口径のビットで穿孔する
			ハンマードリルでコアをはつる
		本体の取付け不良	ビットをはずし、本体をセットしなおす
		支柱とギヤケースの間にガタがあるため、ビットがそれる。	支柱とギヤケースのギャップ調整をおこなう
		チップの幅方向の摩耗	ビットを新品に交換する
穿孔能力が落ちた	排出される水をチェックする	排出される水に鉄粉がまじっていれば鉄筋を切断している	押圧をかけすぎないように注意する
	ビットの摩耗をチェックする	ビットの摩耗	新しいビットに交換する
		ダイヤモンドの裏面に、あらわれていない	ビットをドレッシングする※
		ビット面に切り粉がたまっている	給水量を増す
			ビットをドレッシングする※
		鉄粉がビット面に焼き付いている	鉄粉をおとす
	ダイヤモンドが研磨状態になっている	押圧をあげてみる	
	チューブの摩耗をチェックする	支柱とスライドロックの間にガタがある	支柱とギヤケースのギャップ調整をおこなう
		スピンドルの振れ	スピンドルを交換する
チューブの振れ		チューブを交換する	

※ドレッシング（レンガ、ブロックを穿孔するか、トイシ、砂で研磨して下さい。）



## 1. ギヤケース調整方法

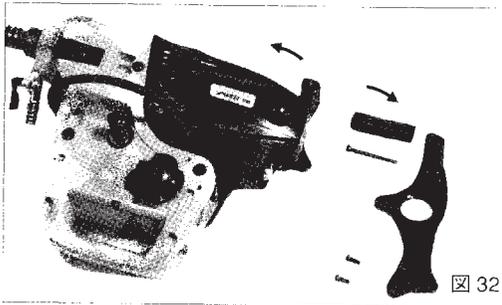
- (1.) ナット及び調整ねじと、ストッパーをゆるめ、ギヤケースを支柱にさし込んでください。
- (2.) 調整ねじをしめ込んで、樹脂板を支柱に軽く押しあてます。
- (3.) ギヤケースと支柱のガタがなくなるまで、調整ねじ及びナットをしめ込んでください。  
※あまり強く締め込むと、送りが重くなりますのでご注意ください。
- (4.) 樹脂板あるいはローラが摩耗して、ガタが生じてきたら新品と交換してください。



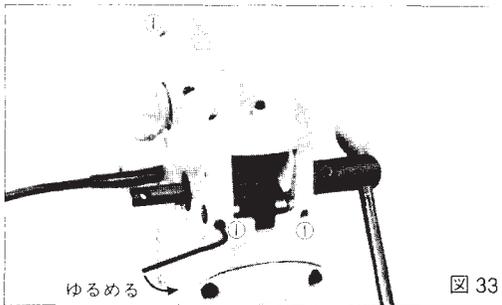
## 2. ローラの交換

### (1.) プロテクターの取外し。

(イ) プロテクターを固定している 1・2 のボルトを両側とも外します。

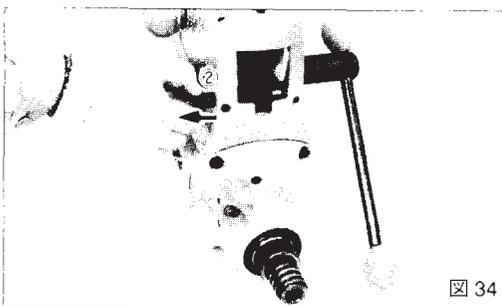


(ロ) プロテクターを左右に分割して本体より取外します。

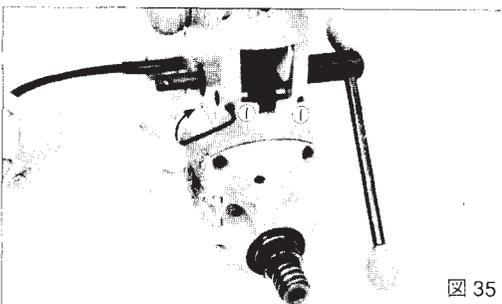


### (2.) 前側ローラの交換

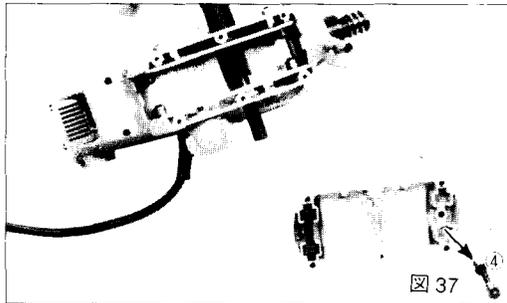
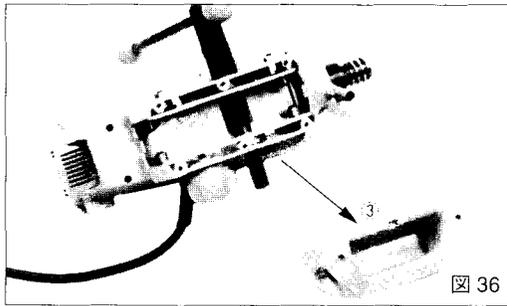
(イ) 支柱から本体をはずして、六角穴付き止めねじ (M8×10、4か所) ①をゆるめます。



(ロ) 前側ローラアッセンブリー②を抜き取り、新品と交換します。



(ハ) ①をねじ込んで、しっかり固定してください。

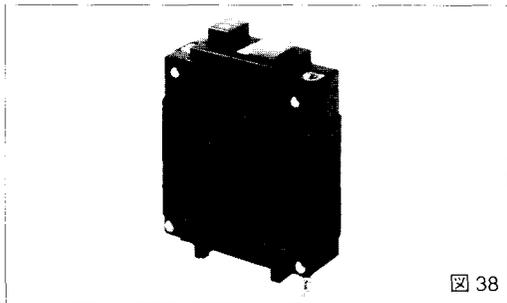


### (3.) 後ろ側ローラの交換

持手蓋③を外して、後側ローラアッセンブリー④を取り出し、新品と交換してください。

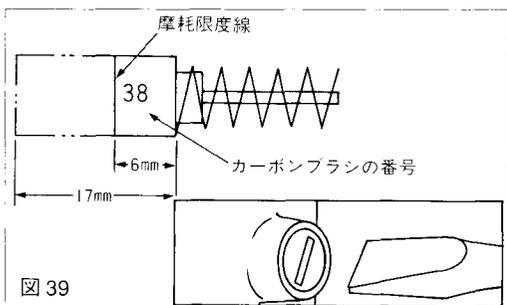
## 3. クラッチのすべり

モータのギヤ部保護のため、クラッチが内蔵されています。モータに無理な力がかかったり、刃先に抵抗があったときは、ギヤ部保護のため、クラッチがすべります。クラッチがすべると、モータは回転してもビットは回転しません、故障ではありません。※クラッチの調整は弊社、各営業所にご相談ください。



## 4. サーキットプロテクタ

モータの電気部保護のため、スイッチ兼用のサーキットプロテクタが内蔵されています。作業中、モータが停止しても故障ではありません。再度スイッチをONにすれば、すぐに作業を続行することができます。



## 5. カーボンブラシの点検

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モータ故障の原因となりますので、長さが摩耗限度線(6mm)ぐらいいなりましたら新品と交換してください。

### 交換方法

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでカーボンキャップを外しますと取り出せます。

〈注意〉新品と交換の際は必ず図示の番号(38)に合ったカーボンブラシをご使用ください。

# ビット (グリーンビット一覧表)

## 薄肉1本物ビット



商品コード	呼び径	外径 (mm)	有効長 (mm)	適合機械				
				RC90	RC130	RC130L	RC180	RC6B
450100	27	27.0	250	○	○	○	○	○
450101	32	32.0	250	○	○	○	○	○
450102	40	40.0	250	○	○	○	○	○
450103	52	52.0	250	○	○	○	○	○
450104	65	65.0	250	○	○	○	○	○
450105	79	79.0	250	○	○	○	○	○
450106	75	75.0	250	○	○	○	○	○
450107	80	80.0	250	○	○	○	○	○
450108	90	90.0	250	○	○	○	○	○
450109	100	100.0	250	○	○	○	○	○
450110	106	106.0	250	○	○	○	○	○
450111	110	110.0	250	○	○	○	○	○
450112	120	120.0	250	○	○	○	○	○
450113	130	130.0	250	○	○	○	○	○
450114	150	150.0	250	○	○	○	○	○
450115	160	160.0	250	○	○	○	○	○
450116	180	180.0	250	○	○	○	○	○

- レーザー溶接でチップの飛びを解消。
- 薄肉ビットならではのシャープな切れ味。
- 取付ねじは作業性の良い32mm角 (Aロット)。
- 有効長250mm。

## 2点式ロングビット



商品コード	呼び径	外径 (mm)	有効長 (mm)	適合機械				
				RC90	RC130	RC130L	RC180	RC6B
450310	2	53.2	350					○
450311	2½	64.7	350					○
450312	3	77.4	350					○
450313	3½	90.8	350					○
450314	4	110.0	350					○
450315	5	128.5	350					○
450316	6	160.0	350					○

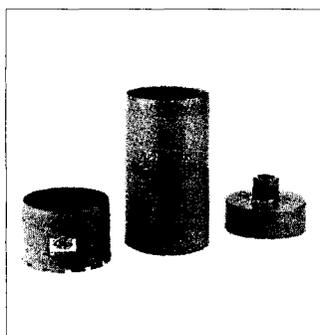
- かみ込み時に処理のしやすい2点式。
- ビット、アダプターの組み合わせで使用。
- 切れ味重視の薄肉タイプ。
- 有効長350mm。

## 2点式ショートビット

商品コード	呼び径	外径 (mm)	有効長 (mm)	適合機械				
				RC90	RC130	RC130L	RC180	RC6B
450317	2	53.2	250					○
450318	2½	64.7	250					○
450319	3	77.4	250					○
450320	3½	90.8	250					○
450321	4	110.0	250					○
450322	5	128.5	250					○
450323	6	160.0	250					○

- かみ込み時に処理のしやすい2点式。
- ビット、アダプターの組み合わせで使用。
- 切れ味重視の薄肉タイプ。
- 有効長250mm。

## 3点式ビット

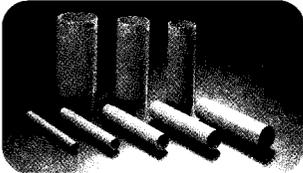


商品コード	呼び径	外径 (mm)	有効長 (mm)	適合機械				
				RC90	RC130	RC130L	RC180	RC6B
450300	1	27.6	350					○
450301	1¼	33.1	350					○
450302	1½	40.0	350					○
450303	2	53.2	350					○
450304	2½	64.7	350					○
450305	3	77.4	350					○
450306	3½	90.8	350					○
450307	4	110.0	350					○
450308	5	128.5	350					○
450309	6	160.0	350					○
450324	7	180.0	350					○

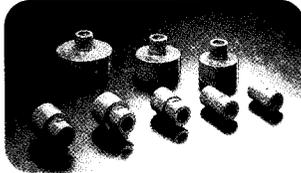
- ビット、チューブ、アダプターの組み合わせで使用。

- 有効長350mm。

※呼び径7 (180.0) の3点式ビットは標準の水処理パットではご使用になれません。



チューブ

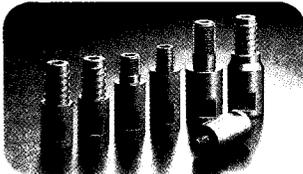


アダプター



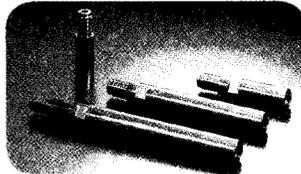
パーマルレンチ

- 分割式ビットの分解に。



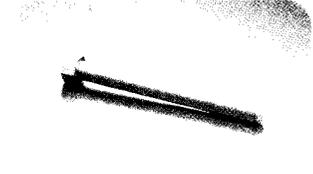
レジャーサー

- Aロット以外の取付けねじを使用する場合に。



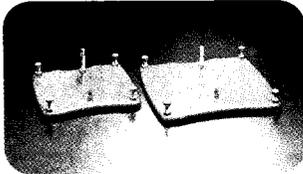
延長バー

- ビットの有効長以上の深い穿孔に。



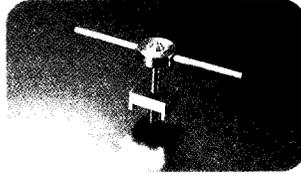
コア抜きバー

- ビットの中に入り込んだコアの取り出しに。



真空吸着パット

- ベースのアンカー固定が不可能な場所に。



サポートジャッキ

- アンカーを施せずにベースを固定。

## バキュームセット

- 真空吸着パットの吸着に。

## 給水タンク

- 水道口の不便な所に。

## 角度支柱

- コンクリートダム、ノリ面の水抜き等の穿孔、および試験用のコア採取における角度調整に。
- 電気、電話、水道、冷暖房用配管における斜めの穿孔に。

## 長尺支柱

- ロングビットを使用して深い穿孔を行う場合に。

# REX

www.rexind.co.jp

## レッキス工業株式会社

東京支店	〒170-0013	東京都豊島区東池袋3丁目13番8号	Tel.03(3980)5341
大阪支店	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.072(965)9811
札幌営業所	〒006-0832	札幌市手稲区曙2条4丁目3番31号	Tel.011(682)3711
仙台営業所	〒984-8651	仙台市若林区卸町3丁目1番13号	Tel.022(232)1697
東京営業所	〒170-0013	東京都豊島区東池袋3丁目13番8号	Tel.03(3980)5341
前橋営業所	〒371-0846	群馬県前橋市元総社町932番8号	Tel.027(253)8691
神奈川営業所	〒243-0804	神奈川県厚木市関口150番地の1	Tel.046(245)3981
名古屋営業所	〒454-0806	名古屋市中川区澄池町9番3号	Tel.052(351)1551
大阪営業所	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.072(965)9811
高松営業所	〒760-0072	高松市花園町3丁目7番22号	Tel.087(834)3982
広島営業所	〒734-0022	広島市南区東雲2丁目15番11号	Tel.082(284)8085
九州営業所	〒816-0082	福岡市博多区麦野3丁目18番26号	Tel.092(583)1110
本社	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋1丁目4番5号	
工場	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	

お客様相談窓口



0120-475-476

受付時間：月～金 9:00～12:00 13:00～17:00